

「パッケージデザイン ～ワクワクのその先へ～」

オンライン
研究会

調査研究委員会では、近年、社会課題とパッケージデザインをテーマに、継続的に研究会を開催してきました。昨年のTOKYO PACK 2021(東京国際包装展、主催：日本包装技術協会)では、「こんな未来、ワクワクしませんか？」などの提案も行いました。2021年度からは、SDGsとパッケージデザインの関わりを基底のテーマにし、ユニバーサルデザイン、ローカルパッケージ、若者意識と買い物行動などについて、分科会形式での取り組みをスタートしました。そのキックオフを公開研究会として開催します！SDGs、ユニバーサルデザイン、地域活性化、Z世代などのテーマに興味をお持ちのみなさまが、自由にご参加いただける研究会です。(要事前申込、有料)

開催日時：2022年3月2日(水) 16:00 - 18:30

第1部 基調講演

「SDGsと パッケージ開発、 デザインへの 期待」

講師 **住本充弘 氏**
住本技術士事務所 所長
技術士 / 包装管理士

講師プロフィール：

1967年 東北大学理学部卒業、大日本印刷(株)入社、各種パッケージ開発、及びシステム開発、ユニバーサルデザイン、環境対応パッケージ等。大日本印刷(株)定年退社の、2004年から現在、国内外でパッケージングのコンサルタント活動。



前半の基調講演では、国内外の最新パッケージ開発動向を精力的に取材し、講演・執筆などで発信を続ける住本充弘氏をお招きし、SDGs(持続可能な開発目標)を背景に、国内外のパッケージ開発の最新動向、パッケージデザインとの関係性、今後への期待などについてご講演いただきます。

第2部

調査研究委員会の取り組み ～ワクワクのその先へ～
各分科会より取り組みテーマの紹介&ディスカッション

やさしいパッケージ分科会

誰に対しても優しい、使い方が易しい、地球にやさしい…。社会課題、環境問題、ユニバーサルデザインなど、さまざまな課題を解決するデザインについて、情報収集・取材・体験等を通じてテーマをフォーカス。将来の提言を目指します。

土地のチカラ分科会

地域限定ロングセラーの「なぜ」を考察することで、デザインでできる「持続可能」性に迫ります。またこれまで取り組んできた「ニッポンの特産品」事例調査を継続的に展開し、ローカルデザインの主軸を探るという2本柱を研究対象にします。

世代を覗くパッケージ分科会

SDGsの視点で、Z世代に価値観の変化に焦点を当てて調査し、世の中とパッケージデザインの環境の変化を紐解きます。それに伴った消費・購買行動の意識、チャネルの変化によって、見えてくるパッケージデザインの変容、可能性を探ります。

後半では、JPDA調査研究委員会の取り組みテーマを各分科会よりご紹介します。その背景、問題意識とともに今後の研究活動の方向性について各分科会代表が報告します。

その後、講師を交えてディスカッションをおこないます。

★参加費 JPDA会員2,200円/一般3,300円/学生1,100円

★申込期限 2月25日(金) 23:59

★申込はJPDAサイトから >>>

https://activity.jpda.or.jp/seminar_event/2703.html

